

ながさき教育通信

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

長崎県教育庁働きがい推進室
電話/095-894-3331 メール/s40190@pref.nagasaki.lg.jp

公式 YouTube



学校・教員の魅力を
中心に発信しています
ぜひチェックを
お願いします!

公式 Instagram



「学校のネタ帳」を
テーマに長崎の
学校の話題を
発信しています

ながさき こども文化ミーティング

初開催

体験無料

日時
2月8日(日)
10:00~16:00

対象
小中学生



Instagram
二次元コード

場所
ベネックス長崎ブリックホール
(長崎市茂里町 2-38)

子どもたちに文化との出合いを

子どもたちや保護者の皆さんが、さまざまな文化芸術活動に「出合う(meet)」ための場です。音楽やダンス、e-スポーツ、茶道、華道などいろいろなジャンルの体験を通して、文化芸術活動を始めのきっかけを作ります。また、文化芸術活動の団体によるブースや発表ステージがあり、実際の活動内容を知ることができます。

問い合わせ 県教委学芸文化課教育文化班 TEL 095-894-3385

いろんな体験をやってみよう

※事前申込み優先、当日受付も可能!
(事前申込みの受付は終了しています)



音楽

管楽器や打楽器など数種類の楽器に触れ、実際に音を出すことができます



e-スポーツ

「太鼓の達人 ドンダフルフェスティバル」・「釣りスピリッツ 釣って遊べる水族館」をe-スポーツとして体験します



茶道

表千家青年部の指導で、自分でお茶をたてて菓子と共に味わいます

和装

約20着の中から選んだ着物を着て、最後に写真を撮ります

ダンス

K-POPやヒップホップの音楽に乗り、みんなで楽しく踊ります

美術

自分で描いた絵でオリジナルのキーホルダーや缶バッジを作ります

華道

草月流県支部の指導で生け花を体験。作品は記念に持ち帰ることができます

伝統芸能(長崎刺しゅう)

小学3年生以上を対象に、桜の刺しゅうに挑戦します。長崎刺しゅうの解説もあります

子ども食堂
スタンプを集めた
方は、子ども食堂
に参加できます



他にも企画が盛りだくさん **大ホールステージイベント**

鑑賞体験 13:30~14:00

戸町小ブラスキッズとアンサンブルラフォーリアによる指揮者体験や鑑賞体験ができます

コンサート 15:00~16:00

イベントの最後を盛り上げるアンサンブルラフォーリアによるコンサートを開催

\\ 特別支援学校高等部の生徒が頑張っています! //

特別支援学校キャリア検定

長崎県教育委員会は、県内の特別支援学校高等部の生徒を対象に進路実現に向けて必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことを目的に、清掃や事務に関するキャリア検定を実施しています。進路実現に役立てるほか、検定へ向けた主体的な取り組みによって、生徒の自己有能感や職業的自立への意欲向上を図ります。受検者は習熟度によって1~10級の認定を取得し、履歴書にも記載しています。本年度からパソコンを用いた「アノテーション」の検定が新たにスタートしました。

担当職員から

最後まで集中して取り組む姿に感動しました。検定に向けて積み重ねた努力と、本番で見た粘り強さは大切な力です。その力を信じて、次の目標に向かって自信を持って進んでください。今後の活躍を楽しみにしています。

清掃

テーブル拭き、自在ぼうき、モップ、ダスタークロスの4種目を審査します。昨年度は294人が受検しました。



事務アシスタント

宛名シール貼りや資料の二つ折り、指示された資料のピックアップなどの検定課題があります。本年度は35人が受検しました。



アノテーション

パソコンを使った画像のタグ付けやエラーチェックなどを行います。本年度は29人が受検しました。



目標にしていた
級が取れなくて
悔しかったが頑張った



いろいろなやり方を
している人がいたので、
自分も試してみたい



今後とも
いろんなことに
チャレンジして
自信を付けたい

小田先生ってどんな先生?

1、2年生の複式学級の担任で、主に社会と音楽を教えています。地元・対馬での勤務は2年目。生徒と同じ目線で話を聞くことを大切にしながら指導に当たっています。

先生のリフレッシュ方法

高校卒業後に対馬を離れたため、地元のことをあまり知らずにいました。休みの日はもっぱらドライブ。観光名所を巡りながら、ご飯屋さんを探すのが好きです。

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く
先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは
長崎県立虹の原特別支援学校
高等部対馬分教室の

小田潮路先生

生徒の特性を理解し一緒に成長



教員を目指したきっかけ

小学生の頃、よく遊んでいた友達に弱視の子がいました。授業をサポートするために机を並べ、先生の板書をノートに書き写して見せるなど、学校生活の中で自分なりにできる手伝いをしていました。この経験が「教員になりたい」という漠然としたものから、特別支援学校教諭を目指す後押しになりました。

この仕事に就いてよかったことは

生徒によって障害の程度はさまざま。赴任当初は「このやり方であっているのか」と不安に思うこともありましたが、しかし何度も根気強く指導を繰り返すうちに、ある日突然「できた!」と成長が目に見える瞬間があります。その喜びは何物にも代えがたいもの。子どもたちの表情も達成感と自信に満ちて輝いています。

特別支援学校はどんなところ

本校は知的障害を有する生徒が通う学校です。国語や数学、社会などに加えて「職業授業」があります。これは校内作業や校外での現場実習など、実践的な学びを通じて生徒の自立や社会参加を支援するためのものです。併設する対馬高校の生徒と一緒に、体育祭や文化祭、遠足といった行事も楽しんでいます。